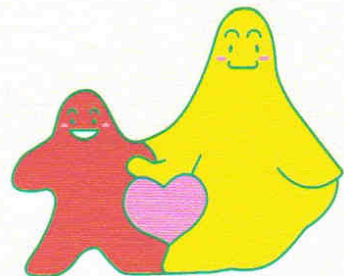




目黒区障害者地域自立支援協議会の 活動紹介

～ 元気ある部会を目指して～



目黒区の障害福祉シンボルマーク
愛称「なぽぽ」





そもそも「地域自立支援協議会」って何？

地域における障害福祉関係者による連携及び
支援の体制に関する協議を行う会議
(障害者自立支援法施行(H18)に伴い設置)

地域の障害福祉のシステムづくりにおいて中核的役割

情報機能

困難事例や地域の現状・課題等の情報共有と情報発信

調整機能

関係機関のネットワーク構築、困難事例へのあり方に対する協議・調整

開発機能

社会資源の開発、改善

教育機能

構成員の資質向上の場として活用

権利擁護機能

権利擁護に関する取り組みを展開する

評価機能

委託相談支援事業者、相談・支援サービス事業等の評価等



目黒区自立支援協議会の誕生

平成21年2月：発足！

協議会（年2回）

【協議会メンバー】

学識経験者、相談支援事業者、障害福祉サービス事業者、
障害者団体、就労支援機関、教育機関、保健医療機関、
民生児童委員、権利擁護関係者、区職員

就労支援担当者会 （年1回程度）

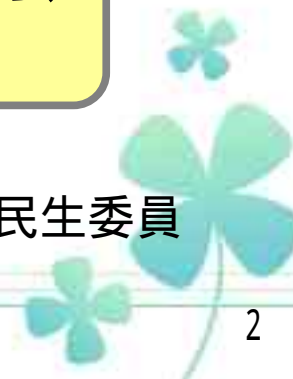
【担当メンバー】

就労支援機関、教育機関
就労移行支援事業所、区職員

居宅サービス担当者会 （年1回程度）

【担当メンバー】

障害福祉サービス事業者、民生委員
相談支援事業者、区職員





目黒区自立支援協議会の再始動

平成23年4月：新たにスタート！

【名称変更】

就労支援担当者会 ⇨ 就労支援部会
居宅サービス担当者会 ⇨ 生活支援部会

【構成メンバーの再構築】

それぞれの部会に実務担当者をメンバーに

【定期的な開催】

2カ月に1度の定期的な開催





目黒区自立支援協議会の方向性



立ち上げ期（1～2年）：H23・24年度

生活支援部会・就労支援部会の開催を定着させる。

（年5回程度開催）

現場からの事例報告を継続し、その中から課題の共通認識を図る。
部会員のネットワークを構築する。



展開期（2～3年後）

部会の再編成（個別ケース会議機能）

立ち上げ期に共通認識が図れた課題解決に向けた検討組織に再編成。

（例：相談支援・グループホーム・就学等）

個別ケース会議の定着化（定期開催・ネットワーク構築）





目黒区自立支援協議会の方向性



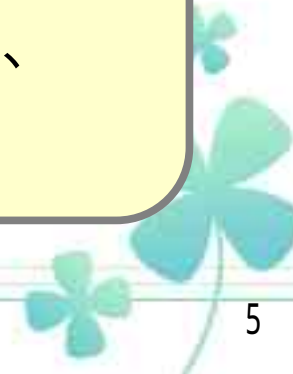
成熟期（3～4年後）

根本的課題解決に向けたアクション
区への提案・不足する社会資源の充足への取り組み

個別ケース会議の継続

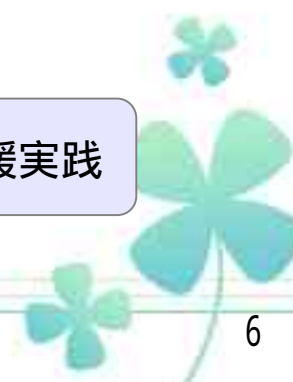
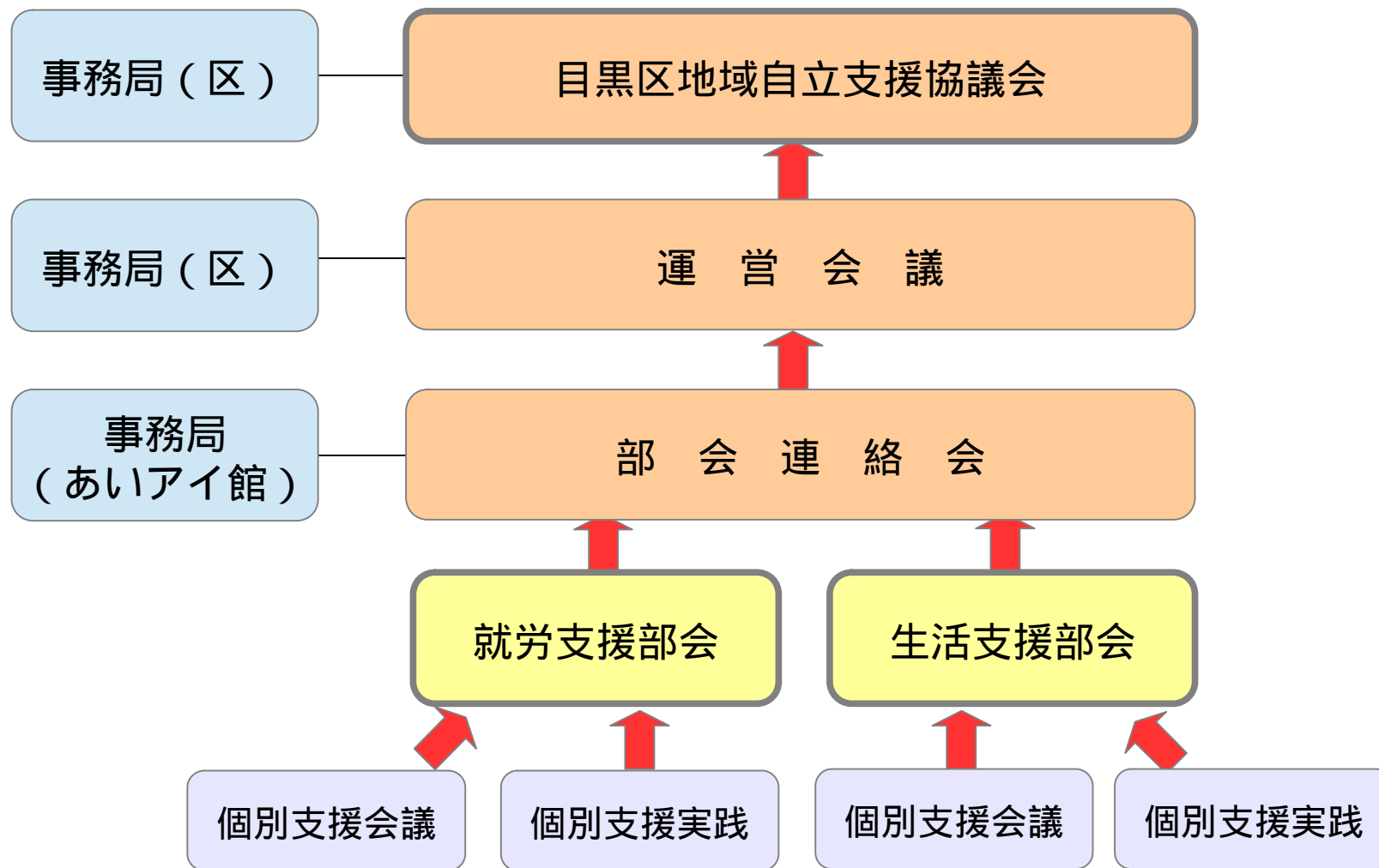
新たな課題への取り組み

目黒区自立支援協議会は、構成員相互による運営を基盤とし、地域の現状や課題の情報共有を図り、幅広いネットワークを構築し、困難事例へ取り組むなどの着実な活動を継続しながら、地域での自立のための環境改善を図ります！





目黒区自立支援協議会 構成図





就労支援部会

< 構成メンバー（所属） >

もえぎの会 しいの実社、ワークイン翔、フードコミュニティ目黒
かみよん工房、清水会 清水実習所、みきの会 プレス、下目黒福祉工房
目黒本町福祉工房、目黒障害者就労支援センターいきいき*せかんど 他



【平成23年度】

第1回（6月）：部員自己紹介、活動趣旨説明
事例検討（しいの実社）

第2回（8月）：合同学習会

第3回（10月）：事例検討（かみよん工房）

第4回（12月）：事例検討（フードコミュニティ目黒）

第5回（2月）：活動総括、次年度活動計画の確認





就労支援部会

【平成24年度】

- 第1回（6月）：部員自己紹介、年間スケジュール説明
就労支援に関するアンケートの目的確認、内容検討
事例検討（就労支援センター）
- 第2回（8月）：アンケート集計結果報告
関係機関との懇親会（ハローワーク渋谷）
事例検討（就労支援センター）
- 第3回（10月）：アンケート集計結果の整理、検討
目黒区における就労支援体制について 他
- 第4回（12月）：学習会

